

# OB会報発行によせて

OB会長 大山 隆 久 (旭丘5回)

昨年、部誌及び名簿の発刊、又OB会の運営問題等につき一中の先輩、旭丘の各年次代表の皆さんに何度も御集まり願ひ色々御協議して頂きました結果、立派な組織会則が出来ました。

又、会自体経済的余裕なき為一中の先輩の方々に寄付をお願いしたり、会員の皆さんより部誌代金・会費等の納入の徹底を各年次代表の方々にお願いした事に依り、会計報告の通り余剰金も多少乍ら出す事が出来新年の総会を無事終える事が出来ました。会員各位、役員幹事の皆さんの御協力厚く御礼申し上げます。

去る五月二十五日開催致しました春の幹事に於て今年度の事業として

一、四校リーグの前夜を八月三日に開催  
一、OB会会報を年一回発行

が決まり、ここに目出度く第一号を発刊する事が出来ました。今後は会報を通じ会員の皆さんの積極的な参加を願ひ、OB会が大いに発展して益々魅力的な有る会となり、現役の皆さんに何らかの援助が出来る様になればと思います。昨年一中の先輩諸兄に参加願った事に依り名称も愛知一中旭丘高校バスケット部OB会となり、会員数約八〇〇名の名實実共に大OB会となりました。此の燃え上った炎が永遠に消える事のなき様祈願し、会員各位の暖い御支援と御協力を心よりお願い申し上げます。御挨拶と致します。

## 合同OB会発足の足音

矢野 康明 (旭丘29回)

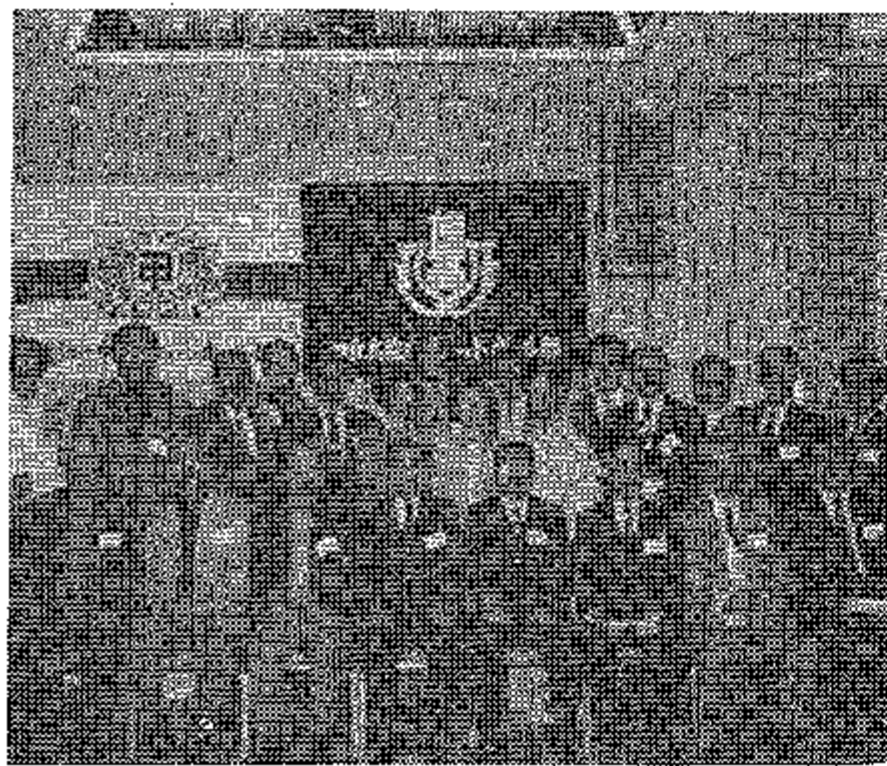
今年の新年会は十分お楽しみいただけましたでしょうか。

昭和五十八年十月にOB会名簿と部誌の作成に着手して以来、一年三箇月の歳月を経てやつとの事で刷り上がるとともに、一中・旭丘の合同OB会が発足いたしました。早々に原稿を頂戴した方々には、誠に申し訳なく、改めてお詫び申し上げます次第です。

ここで紙面をお借りして、簡単に経過のご報告をさせていただきます。事の起りは、愛知一中同窓会からの顕彰金三十万円でありました。その当時顧問をしておられた荒川先生

から、折角の基金でもあり何か記念に残る物を作っては、とのお話がOB会にあり、部誌と名簿を一中の先輩方合同で作成することになったのです。当初は、合同のOB会の企画までは出来ておらず、とに角名簿の整備と、部誌の原稿集め編集できればと活動を始めた。名簿は出来る限り正確に、また部誌には一人でも多くの方に参加していただきたいと進めてまいりますうちに、合同OB会発足の気運が高まり、昨年の秋からこの準備会も併せて開かれることになったのです。

昨年十月二十日には、一中籠球部の初代主将柴垣芳太郎氏をはじめとする一中OBの代表と旭丘OBの代表が集い、改めて合同OB会の発足が提案されました。そしてこの提案と、かねてより進めてきた部誌・名簿の頒布方法等を議題として、十一月一七日に旭丘OBの年次代表会を開き、合同OB会が内諾され、またその運営には三年次を代表する幹事が中心となることが決められました。早速十日後の十一月二十八日には、第一回の幹事会が招集され、この席上では、年間行事や役員



60年1月2日 国際ホテルにて

## 四校リーグとその前夜祭のお知らせ

### ◎四校リーグ

菊里高校にて  
8月3日(土)  
9:00 現役戦  
8月4日(日)  
9:00 現役決勝  
11:40 OB予選  
13:00 OG戦  
14:00 超OB戦  
(原則として40才以上)  
15:00 OB決勝  
奮って参加しよう!!

### ◎前夜祭

思い出多い四校リーグを機会に一中・旭丘のOBが一同に集まって旧交を温める会を催したいと思います。  
・8月3日(土)午後6:00~  
・頤和園(いわえん)豊田ビル店  
TEL581-6471  
・会費 一中~旭丘15回 7000円  
旭丘16回~33回 5000円  
// 34回以降 3000円  
※この会の出欠について、同封の葉書で7月20日までに連絡下さい。  
幹事 服部保孝(旭丘25) TEL 0586-45-0858)



などを盛り込んだ会則について話し合い、正月の総会へ準備を始めたのでした。  
母校バスケット部の発展とOBの親睦を深めるため、より一層のご指導、ご協力をお願いし、ご報告とさせていただきます。

# 昭和58・59年度 活動(成績)報告

## (男子)

<sup>S58</sup> 4月 県大会名北地区予選 旭丘 - 愛知  
 8月 愛知県立高校大会 旭丘 - 南陽  
 旭丘 - 守山  
 四校リーグ 旭丘(49) - 53 向陽  
 " 83 - (93) 菊里  
 " (69) - 64 明和  
 11月 新人戦 旭丘 45 - (126) 名電  
<sup>S59</sup> 1月 三校リーグ 2勝  
 7月 愛知県立高校大会 旭丘(69) - 68 向陽  
 " 38 - (72) 惟信  
 四校リーグ 旭丘 50 - (59) 向陽  
 (69) - 56 菊里  
 8月 名北大大会 旭丘(64) - 56 春日井  
 " (90) - 57 名東  
 " 62 - (75) 守山  
 11月 県立大会 旭丘(55) - 46 山田  
 " (67) - 52 瀬戸西  
 " 57 - (67) 菊里  
 " (5位決定戦)  
 旭丘(71) - 67 守山  
 " 53 - (67) 高蔵寺  
<sup>S60</sup> 1月 三校リーグ 旭丘 50 - (71) 熱田  
 " 50 - (66) 瑞陵

1月 県立大会 旭丘(64) - 52 愛工  
 " (75) - 62 春日井  
 " 48 - (82) 北

## (女子)

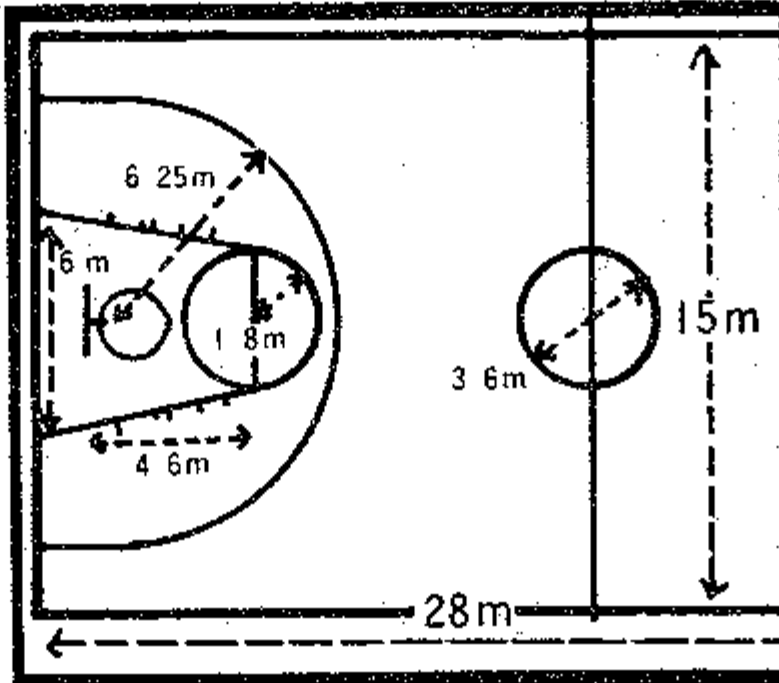
<sup>S58</sup> 4月 総体予選 2回戦敗退  
 (対千種(勝) 緑商(敗))  
 8月 四校リーグ 0勝3敗  
 県立高校大会 1回戦敗退  
 (対昭和)  
 11月 新人戦 1回戦敗退  
 (対春日井東)  
<sup>S59</sup> 1月 三校リーグ 0勝2敗  
 選手権大会 1回戦敗退  
 4月 総体予選 "  
 7月 四校リーグ 0勝3敗  
 県立高校大会 1回戦敗退  
 (対中川商)  
 8月 名北大大会 1回戦敗退  
 (対名西)  
 11月 新人戦 2回戦敗退  
 (対金城(勝) 樺山(敗))  
<sup>S60</sup> 1月 三校リーグ 1勝1敗  
 選手権大会 2回戦敗退  
 (対聖カカイ(勝) 瀬戸西(敗))  
 4月 総体予選 (対瀬戸西(勝) 瀬戸西(敗))

### スリーポイントショット

コート上に、リングを中心とした半径6.25mの白い半円が描かれています。これはスリーポイントラインと呼ばれ、このラインより外側からのショットが入ると3点になります。ラインの内側からは、今まで通りの2点。



ラインの外側からショットされた時、審判は3本指を上にあげます。



### チームファール

各チームの選手のファールの合計が各ハーフで7回(昔は8回)を越すと相手チームにフリースローが与えられます。オフェンスの時はありません。

### フリースロー

**3本** 3点ショットの時にファールされて入らない時  
**2本** 2点ショットの時にファールされて入らない時  
**1本** ショット時のファールで、それが入った時、得点された上で、もう1投  
**1 & 1** チームファールが7個を越した時の、ショット時以外の時、1本目が入ればもう1ショット出来ますが、1本目が入らなければ、そのまま続行されます。

’85年4月からの新ルールの主たる変更点

### バスケット部近況報告

5月より新チームに移り、男女共に現在、基礎体力の向上・基本技術の体得を中心に、自主的にかつ熱心に練習しております。  
 さて、7月下旬より鮎光館改修工事が始まるので、練習場所に困っています。夏休み期間中は、近くの三菱の体育館を借りることになっていますが、それ以降については、鋭意検討中です。  
 今年度のチームは、こんなたいへん不利な状況にありますが、きっと頑張ってくれると信じています。  
 男子顧問 近藤 仁司

—今年度の大会予定— 応援に行こう!

#### <公式戦>

4/28・29・5/3 総合体育大会名北予選  
 7/25・26 市内県立大会 (於 惟信)  
 8/3・14・15 オール名北選手権 (於 瀬戸・旭野)  
 11/3・4・10 新人戦 (於 春日井西商)  
 1/2・15・19 名北優勝選手権大会 (於 紅・明和商)  
 <対抗戦>  
 8/3・4 四校リーグ (於 菊里)  
 1/5・6・7 AZA(三校リーグ) (於 熱田)

# バスケット部の合同OB会発足

昭和60年6月12日  
中日新聞市民版より

## OB会の現状 OB数

- ・愛知一中  
123名(うち永眠24名)
- ・旭丘  
男449名(同4名)  
女253名
- ・顧問  
16名

計 841名  
(うち永眠28名)

## 合宿のお知らせ 競光館工事のため

7/23~27  
23A.M  
24A.M  
27A.M  
三菱電機体育館  
23P.M  
24P.M  
校内トレーニング  
25 鳴海高  
26 惟信高にて  
県立大会



完成した部誌を前に今後の結束を確かめ合う愛知一中OB(中央2人)と旭丘高OB(両端)

# 一中旭丘 ナイスシュート

県立旭丘高の前身である旧校と新制校の違いもあって、とOBの伝統を将来まで築く制愛知一中籠(ろく)球部 一中が旭丘となった昭和二十三年十月以降、ほとんど交流の結成を計画。(バスケット部)と現在の旭丘高バスケット部OBが一つはなかった。それぞれがOBにまとまり、このほど合同OB会を作ることもなく過ぎたB会を結成、初めての部誌をが、野球部、ボート部などで発行した。今年が部誕生五十はOB会が部誌を発行し、活年の記念の年。合同OB会で発に後輩の面倒をみているこは「旧交を温め、現役部員のとに刺激され、四十九年、ま(一中百人、旭丘六百八十応援に力を注ぎたい」と大張ず旭丘OB会が発足。続いてり切り。七月には、愛知一中五十二年の開校百周年の際、籠球部の流れをくむ明和、菊一中のOBもこれに合流する。手記を寄せている。 結束の固まった両OB会の

## 伝統守るぞ、初の部誌

## 来月のリーグ戦へ全力

里、向陽高バスケット部OB 動きが出てきた。との恒例の四校リーグ戦もある。合同OB会のメンバーは「伝統を守り抜く」と結成は 十万円がバスケット部に贈られたことがきっかけで、一中と旭丘のOBが「後輩の応援

メンバーが楽しみにしているのが来月に迫った明和、菊里、向陽高との四校リーグ戦だ。もう二十四年以前の伝統がある。愛知一中が新制旭丘高に変わるうち、籠球部員の通学校も新制旭丘、明和、菊里、向陽高の四校にふり分けられたのがリーグ戦の始まりだった。六十歳に手が届くOBたちも「往年のプレーを披露する」て目を輝かせている。

OB会報第1号いかがでしたか。準備不足と力不足であまり立派なものとはなりませんでしたが、これに懲りずに年1~2回は発行したいと考えています。意見があったらどんどんお寄せ下さい。

ところで部誌は360名ほどのOBに配布、会費も含めた収入でなんとか印刷費等支払うことができました。御協力ありがとうございました。 入

しかしまだ70名ほどの方より代金を振込んでいただいております。該当するOBには振込用紙を同封致しましたのでよろしく。

なお今回の会報は会費を収めたOBのみ配布となっております。

**編集責任者** 服部保孝(25) 丹下雅博(27)  
近藤耕司(29) 齊場 実(32) 大城 誠(35)